1500～ 1550～ 1600～ 宗教戦争、権利、市民革命 1650～ 1700～ 啓蒙・理性・幸福 1750～ 1776アメリカ独立宣言 1800～ ロマン主義（19世紀の反動） 1850～ 国民国家とナショナリズム 1900～ 1950～ 2000～

イギリス絶対王政　王権神授説

1641-49 ピューリタン革命（内戦）　1688年 名誉革命 ⇒

1775年「奴隷貿易廃止法案」提案 ⇒ 先送り

WW-1（1914-18）　世界恐慌（1929）　WW-2（1939-45）　東西冷戦／植民地独立戦争

ヘンリー8世（在位：1509-47）　エドワード6世（在位：1547-53）　メアリ1世（在位：1553-58）　エリザベス1世（在位：1558－1603 プロテスタント）　ジェームズ1世（1603-25 カトリック）ピューリタンを排除　チャールズ1世（1625-49）ピューリタン弾圧⇒ 処刑　クロムウェル（1653-58）の共和制　チャールズ2世 1660-85 王政復古　ジェームズ2世 1685-88　ウィリアム3世・メアリ2世（1689-1702）　アン（在位 1702-1714）　ジョージ1世（在位 1714-1727）　ジョージ2世　ジョージ3世（-1820年）　産業革命（1760頃～1830頃）※1775頃に蒸気機関の発明　ヴィクトリア女王（在位：1837-1901）「君臨すれども統治せず」

プロテスタント化

プロテスタントを弾圧：「血まみれのメアリ（Bloody Mary）」

宗教的「包容」－－ イングランド国教会はピューリタンを取り込み、カトリックを禁止しなかった。
1588年 カトリック・スペイン「無敵艦隊」との戦い、※ 1589年プロテスタントのアンリ四世フランス王位継承 援軍を送る。
・囲い込みによる難民

トマス・ホッブズ（1588～1679）

ジョン・ロック（1632～1704）

カトリック復活をはかり反発を招く⇒「権利章典」～「名誉革命」

メアリ・ウルストンクラフト（1759-97）　1792『女性の権利の擁護』

カール・ポパー（1902-1994）

アダム・スミス（1723-90）

フランシス・ベーコン（1561-1626）　F・ハチスン（1694-1746）　ジェレミー・ベンサム（1748-1832）【功利主義】

ディヴィド・ヒューム（1711-76）　J・S・ミル（1806-73）【質的功利主義】

『ロビンソン・クルーソー』（1719）　バートランド・ラッセル（1872-1970）

ウィリアム・シェイクスピア（1564-1616）　『ガリヴァー旅行記』（1726）　チャールズ・ダーウィン（1809-82）

トマス・ペイン（1737－1809）　ハーバート・スペンサー（1820-1903）【進化論の哲学】

アイザック・ニュートン（1643－1727）　ウィリアム・ワーズワス（1770-1850）

サミュエル・コールリッジ（1772-1834）

トマス・モア（1478～1535）　イギリス・ロマン主義（18世紀中後期～1850頃）

1628年　議会からチャールズ一世に対して「権利の請願」　17世紀末英・スコットランドでフリーメイソンの起源　英仏7年戦争

チャールズ・サンダース・パース（1839-1914）　ジョン・ロールズ（1921-2002）【正義論／福祉国家】

ウィリアム・ジェームズ（1842-1910）

ジョン・デューイ（1859-1952）

宗教改革（1517年）～

ナポレオン一世（ボナパルト）（1769-1821）

フランス絶対王政（アンシャン・レジーム）

アンリ二世（1547-59）　アンリ三世（1574-89）　アンリ4世（1589-1610 プロテスタント）　ルイ13世（1610-43）リシュリュー枢機卿／絶対君主　ルイ14世（1643-1715）【太陽王】――「朕は国家なり」ヴェルサイユ宮殿（カトリック）　ルイ15世（1715-74）　ルイ16世（1774-92）　1789年 フランス革命 ⇒ 共和制　第一帝政（1804-14）　ルイ18世（王政復古 1815-30）　シャルル10世（1824-30）　ルイフィリップ一世（1830-48）　ナポレオン三世（1852-1870）第二帝政　第三共和政　ナチス侵攻／ヴィシー政権

宗教（ユグノー）戦争 1560-98　ルネ・デカルト（1596～1650）　ジャン・ジャック・ルソー（1712-78）　1794年 奴隷制廃止⇒ナポレオンにより復活

ブレイズ・パスカル（1623～　モンテスキュー（1689-1755）　サン・シモン（1760-1825）　クロード・レヴィ＝ストロース（1908-2009）【構造人類学】

ジャン・ボダン（1530-96）　1635～59 フランス・スペイン戦争　ヴォルテール（1694-1778）　オーギュスト・コント（1798-1857）【実証主義の祖】　ジャン・ポール・サルトル（1905-80）【実存主義】

オランプ・ドゥ・グージュ（1748-93）　アレクシス・ド・トクヴィル（1805-59）　ルイ・アルチュセール（1918－90）

ジャン・カルヴァン（1509～64）　サンバーテルミーの虐殺（1572）　1598年「ナントの勅令」 カトリック/プロテスタント共存 ～　ロック、ニュートンの影響　バンジャマン・コンスタン（1767-1830）　エルネスト・ルナン（1823-　ミシェル・フーコー（1926-84）

1791『女性及び女性市民の権利宣言』⇒ 処刑　シャルル・フーリエ（1772-1837）【空想的　1882『国民とは何　ジル・ドゥルーズ（1925-95）

ミシェル・ド・モンテーニュ　ジョゼフ・プルードン（1809-65）【無政府主義の　エマニュエル・レヴィナス（1906-95）

『百科全書』（1751-72）　バルザック（1799-1850）　アンリ・ベルクソン（1859-1941）【生の哲学】

ヴィクトル・ユーゴー（1802-85）　ジャック・デリダ（1930－2004）

アウクスブルク宗教平和令（1555）　フランス・ロマン主義（1800-50頃）　1848 三月革命　ジョルジュ・バタイユ（1897-1962）

神聖ローマ帝国　その後、17世紀「ドイツは一つの地理的名称にすぎない」と言われる　領邦国家群　プロイセン（ドイツ）絶対王政（領邦国家）　フリードリヒ＝ウィルヘルム1世（1713-40）兵隊王　フリードリヒ2世（1740-86）「哲人王」・啓蒙専制君主　フリードリヒ・ヴィルヘルム二　プロイセン　同、三世（在位：1797-1840）　同、四世（1840-61）　ヴィルヘルム一世（1861-1888）　ドイツ帝国（1871－）　ヴィルヘルム二世（1888-1918）　ワイマール共和国（1919-33）　ナチス（ヒトラー）体制 1934-45

ナポレオン侵攻⇒ 国民国家体制の基礎　ビスマルク（1815-1898） プロイセン国王1862-90、ドイツ宰相1871-90）

マルティン・ルター（1483～1546）　イマヌエル・カント（1724-1804）

ライプニッツ（1646-1716）　カール・マルクス（1818-1883）

クリスティアン・ヴォルフ（1679-1754）　ジグムント・フロイト（1859-1939）【精神分析の祖】

カラヴァッジオ（伊　1571-1610）　プーフェンドルフ（1632-94）　G・W・F・ヘーゲル（1770-1831）　フリードリヒ・ニーチェ（1844-1900）　エーリッヒ・フロム（1900-80）

ドイツ観念論　フリードリヒ・シュレーゲル（1772-1829）　テオドール・アドルノ（1903-69）【否定弁証法】

フリードリヒ・シェリング（1775-1854）　ヘルベルト・マルクーゼ（1898-1979）

ニコライ・コペルニクス（1473～1543）　ガリレオ・ガリレイ（伊　1564～1642）　ヨハン・セバスティアン・バッハ（1685―1750）　ヨハン・ゴットリーブ・フィヒテ（1762-1814）　1806『ドイツ国民に告ぐ』　ゲオルク・ジンメル（1858-1918）【生の哲学】

ゲーテ（1749-1832）　マックス・ホルクハイマー（1895-1973）

1774『若きヴェルテルの悩み』　シュトルム・ウント・ドラン　ドイツロマン主義（1797-　ヴァルター・ベンヤミン（1892-1940）

N・マキャベリ（1469-1527）　フーゴー・グロティウス（蘭　1583-1645）　エドムント・フッサール（1859-1938）

マックス・ヴェーバー（1864-1920）【合理化】　民話・民語の収集

14～16世紀頃　ルネサンス　マルティン・ハイデガー（1889-1976）

ハンナ・アーレント（1906-1975）【全体主義の起源】

『グリム童話』1812年　ロシア革命（1917）　ユルゲン・ハーバーマス（1929-

仏・独、産業革命（1815頃～50

ウラジーミル・レーニン（1870-192

ジョルジ・ルカーチ（1885-1971：ハンガリー）